

5 新しい農林水産業の取り組み

1 農林漁業の6次産業化

～いろいろな分野に挑戦^{ちようせん}する生産者たち～

畑で野菜や果物をつくったり、牛や豚を育てるなど、おいしい食材を生産している人たち。また、日本海でいろいろな魚をとっている人たち。中にはそれだけではなく、自分たちで直接販売したり、食材に手を加えて^{くわ}加工食品にしたり、食材を調理^{ちようり}して料理^{ていきよう}を提供したりする「6次産業化」にチャレンジする人たちが^ふ増えています。

とれたての新せんな野菜や魚を販売する直売所。自分たちのつくった野菜や果物のおいしさを^{そん}存分に引き出したスイーツやジュースなどの加工食品。旬^{しゆん}の食材やその土地ならではの調理法が楽しめる農家レストラン。

「6次産業」って何？

農林漁業(1次産業)に加えて、加工(2次産業)、販売(3次産業)に取り組むこと。

「1次×2次×3次=6次」となることから、「6次産業」と名付けられました。



県内にはこのような人のアイデア^{まん}満さいの商品やお店がたくさんあります。みなさんもぜひ楽しんでみてくださいね！

県内の6次産業化事例^{じれい}



大江ノ郷^{さと}自然牧場（八頭町）

にわとりを飼育して、その卵を使った料理やスイーツを楽しめるレストランを営業しています。



（株）アグリネット琴浦（琴浦町）

さいばいしたブルーベリーを^{こうちゃ}紅茶にしています。



おおた農園（米子市）

イチゴや米を生産し、^{こめこ}米粉ジェラートやいちご^{だいふく}大福などにしています。